

心豊かでたくましく共に生きる子ども



ひらかた

3月号

令和8年2月27日
上尾市立平方小学校
校長 大野 和孝



ホームページ [上尾市平方小学校](#) [検索](#) [QRコード](#)

～ 感謝 ～

校長 大野 和孝

校庭の桜のつぼみが少しずつ膨らみ始め、日差しの中にも確かな春の訪れを感じる季節となりました。「三寒四温」と言われるように、寒い日と暖かい日を繰り返しながら、一步步季節が進んでいます。今年度も、いよいよ最後の月を迎えました。

子供たちは、現在の学年での学校生活を終えようとしています。どの子も心身ともに一段と成長した姿を見せてくれています。ぜひ、ご家庭においても、お子さんと成長を喜ぶ時間を共有していただければと思います。人から認めてもらう機会は、自己肯定感を高めることにつながり、進級・進学に向けて力強く進む原動力になることでしょう。

さて、先日まで開催されていたミラノ・コルティナ冬季五輪では、テレビの向こうで全力を尽くすアスリートたちの姿に、胸を熱くした方も多かったのではないのでしょうか。華やかなシーンの裏側に、人知れず積み重ねてきた想像を絶する努力と、幾多の困難を乗り越えた強い意志があったことに感動しました。選手のみならず、選手を支えるスタッフが肩を寄せ合い、涙を流している姿も印象に残りました。インタビューを受ける選手からは、今まで支えてくれた家族や友人、チームスタッフに対する感謝の言葉が数多く聞かれました。私たちの見えないところで、たくさんの人たちが選手を支えているからこそ、選手は思う存分力を発揮できるのだと思いました。たとえ、競技が個人戦であってもチームで戦っていることを感じました。

これは、競技スポーツのことだけではなく、教育現場も同じです。子供たちが自分の力や可能性を思う存分発揮し、豊かに学習や生活を送ることができるよう、様々な立場の人たちがチームとなって協力してくれています。学校は、今年度もたくさんの方々から支えられてきました。子供たちの学習でご支援いただいた方々や企業、幼稚園、保育園、中学校、高等学校。登下校時の安全確保や花壇の手入れ、カーテンの洗濯や大掃除の際のお手伝いをしてくださるボランティアの方々。毎日、平方小敷地周りの雑木や雑草をきれいにしてく下さる方。学校農園を新たに作ってくださる方。ボールを寄付してく下さるおやじの会の方々。ここではご紹介しきれないくらい数多くの皆様方から、様々な場面で支えていただきました。今、こうして「学校だより」を書きながら、お世話になった皆様方の顔が浮かびます。とてもありがたく、感謝の気持ちでいっぱいです。

今月24日には、6年生が中学校へと巣立っていきます。また26日は、修了式が控えています。特に卒業生は、様々な方々から「おめでとう」という言葉が贈られることでしょう。贈られる分以上に、自分の成長を見守ってくれた方々、支えてくれた方々に感謝の言葉を伝えられる卒業生であってほしいと思います。下級生も、自分の成長に気づくだけでなく、周りの方の支えに目を向けられる平方っ子になってもらいたいです。

校庭の桜が、開花するかの如く、この一年、全力で取り組んだ子供たち一人一人が、様々な方々の力をいただきながら、それぞれの花を大きく咲かせようとしています。